

# 令和5年度関東東海北陸農業試験研究推進会議経営部会春季研究会開催要領

農研機構 企画戦略本部 農業経営戦略部長  
宮武 恭一

## 1. 趣 旨

農研機構では、研究業務の効率的な実施および研究成果の効果的な普及等により研究業務の波及効果を高める観点から、国、都県、大学、民間企業、関係団体、関係する農研機構の研究部門・センターの協力を得て、関東東海北陸地域の農業に関する試験研究を対象とする関東農業試験研究推進会議を設置しており、このうち農業経営に関する研究の深化のため、関東東海北陸農業経営研究会との共催で研究会を開催してきた。

この研究会の前身である関東東山農業経営研究会が、磯辺秀俊先生を会長に1954年3月に最初に開催されてから、間もなく70年を迎えるが、「農業経営がだんだん困難に直面してきたために、経営の問題が急にやかましく取り上げられるようになり、特に普及改善が農家の自主性を育成して指導改善する方向になってきて、益々これが前面に押し出されてきた。経営の研究は非常に複雑で、農学の研究の方法、また、経済の面だけでは解けない問題が多く、経営的観点で技術を考えることが必要であり、また、地域的な条件を考えながら進めることが重要である(磯辺会長挨拶の要約)」といった問題意識は、いまなお重要である。

しかし、関東東海北陸地域において、農業経営に従事する研究者や普及指導担当者は、徐々に減少してきており、さらに直近3年間のコロナ禍での人的交流の制約から、農業経営研究に関する情報の交換やお互いの研究に関する意見交換の場を十分に設けることができなかった。

そこで本研究会では、農業経営研究の重要な柱である農業技術の経営評価の取り組みと課題をテーマとして、各県の皆様から、農業技術の経営評価における最新の取り組みと克服すべき課題について報告していただく。それらを素材に、農業経営研究分野の展開可能性について検討することを目的とする。

2. 開催日時 令和5年7月10日(月)13時30分～7月11日(火)12時00分

3. 開催場所 ハイブリッド形式で開催(対面:農研機構 農業環境研究部門(つくば市)、及びオンライン(Microsoft社のTeamsを利用))

## 4. 議 事

1)研究会 令和5年7月10日(月) 13時30分～17時

シンポジウムテーマ「農業技術の経営評価の取り組みと課題(仮)」

座長 田口 光弘(農研機構)

1. 稲作経営における経営評価の取り組みと課題～農福連携に着目して～(仮)

小島 佳彰(福井県農業試験場)

2. 千葉県の露地野菜における端境期縮小に向けた栽培技術の経営評価と課題

西方 圭(千葉県農林総合研究センター)

3. 果樹経営における経営評価の取り組みと課題(仮)

佐藤 政明(長野県農業試験場)

4. 茶経営・農産物輸出における経営評価の取り組みと課題(仮)

山崎 成浩(静岡県農林技術研究所)・長藤 亮彦(静岡県立農林環境専門職大学)

コメント

伴 佳典(愛知県農業総合試験場)、大室 健治(農研機構)

総合討論

2)個別報告会 7月11日(火) 9時～12時(予定)

## 5. 連絡先

農研機構 中日本農業研究センター 転換畑研究領域 畑輪作システムグループ 担当:澤田 守  
茨城県つくば市観音台3-1-3、E-mail: KTH-KeieiBukai@ml.affrc.go.jp TEL: 029-838-8423